

第54回

仙台
大会

東北地区 高等専門学校 体育大会

H29.6.30-7.2

硬式
野球

宮城広瀬球場
名取市民球場

ハンド
ボール

宮城野体育館

主催:東北地区高等専門学校体育連盟

第54回 東北地区高等専門学校体育大会 大会要項

1. 趣 旨 東北地区高等専門学校における体育の健全な発達と普及を図るとともに、学生相互の親睦に資することを目的とする。
2. 主 催 東北地区高等専門学校体育連盟
3. 大会実行組織 東北地区高等専門学校体育連盟競技・運営専門委員会
4. 統括主管校 鶴岡工業高等専門学校
5. 競技開催校 八戸工業高等専門学校 一関工業高等専門学校
仙台高等専門学校名取キャンパス 仙台高等専門学校広瀬キャンパス
秋田工業高等専門学校 鶴岡工業高等専門学校
福島工業高等専門学校
6. 後 援 秋田県、秋田県教育委員会、(公財)宮城県体育協会、(公財)秋田県体育協会、一関市、秋田市、鶴岡市、いわき市、秋田市教育委員会、鶴岡市教育委員会、いわき市教育委員会、(一社)一関市体育協会、仙台市体育協会、(一財)秋田市体育協会、(NPO)鶴岡市体育協会、いわき市体育協会、(一財)山形陸上競技協会、山形県バレーボール協会、(一社)秋田県サッカー協会、秋田県バドミントン協会、岩手県ソフトテニス連盟、一関市ソフトテニス協会、岩手県柔道連盟、一関柔道協会、青森県ラグビーフットボール協会、青森県卓球協会、宮城県高等学校野球連盟、宮城県ハンドボール協会、(一社)福島県水泳連盟、(一財)福島県バスケットボール協会、宮城県テニス協会、宮城県剣道連盟
7. 参 加 校 八戸工業高等専門学校 一関工業高等専門学校
仙台高等専門学校名取キャンパス 仙台高等専門学校広瀬キャンパス
秋田工業高等専門学校 鶴岡工業高等専門学校
福島工業高等専門学校
8. 大会期日 平成29年 6月30日(金)～ 7月 2日(日)
平成29年10月20日(金)～10月24日(火)：ラグビーフットボール
9. 競技種目・競技日程・競技会場・競技開催校 一覧表のとおり
10. 事務局 大会事務局を、統括主管校に置く。
各種目毎の事務局を、当該競技実行委員会に置く。

11. 競技方法 各種目別競技実施要項による。

12. 参加資格

- (1) 参加選手は、東北地区の高等専門学校に在籍している学生（外国人留学生を含む。）で、校長が出場を認め、健康証明のある者とする。
- (2) 参加チーム及び参加選手は、当該年度に各競技団体等に参加登録した者とする。なお、参加登録を証明できる文書の写しを、代表者会議の席上で、競技委員長に提出する。ただし、女子の団体種目はその限りではない。
- (3) 本大会は、全国高専体育大会の参加資格に基づいて予選を兼ねるものとする。
- (4) 日本高等学校野球連盟に参加した学校の３年生までの者は、硬式野球競技に参加できない。ただし、年齢上参加できない者は参加できる。

13. 表彰

- (1) 団体戦……上位３位まで賞状、優勝校には優勝杯並びにメダルを授与する。
- (2) 個人戦……上位３位まで賞状、優勝者にはメダルを授与する。
- (3) ３回連続団体優勝校にはレプリカを授与する。

14. 参加申込 各種目別競技実施要項に定めた方法による。

15. 競技組合せ 各種目別競技実施要項に定めた方法による。

16. メンバー変更

- (1) 全競技の監督、コーチ及びマネージャーの変更は、代表者会議の席上で口頭により申し出れば認められる。
- (2) 選手の変更については、代表者会議の席上で競技委員長に「選手変更届（様式１）」と写し７部を提出し、承認を得るものとする。
ただし、水泳競技の選手変更は一切認めない。

17. 開会式及び閉会式 各種目別競技実施要項に定めた方法による。

18. 個人情報の取扱い

- (1) 競技結果について、個人名などをホームページ、報道等に公表して欲しくない者は、学校を通じて競技実行委員会事務局に申し出てください。事前に申し出のない場合は、公表します。
- (2) 「独立行政法人等の保有する個人情報保護に関する法律」に基づき、大会参加申込書等により取得した個人情報は、大会運営、結果公表等の目的以外には使用いたしません。

19. その他

- (1) 選手の競技中の負傷については、競技開催校側が応急処置を施すが、その後の処置は当該校で行う。
- (2) 参加学生は、健康保険証又は同写しを持参すること。
- (3) 独立行政法人日本スポーツ振興センター所定の用紙を各学校で持参すること。
- (4) 全国大会に出場できるチーム数及び選手数（別表 今大会における全国大会出場チーム・選手数）は、全国高等専門学校体育大会開催規則（第１０条）及び各種目別全

国大会競技実施要項による。

- (5) 個人競技の全国大会出場権を得た者が、その後の不慮の事故等により登録不可能となった場合は次位の者が出場権を得るものとする。

第54回 東北地区高等専門学校体育大会
競技種目・競技日程・競技会場・競技開催校一覧

統括主管校: 鶴岡高専

競技種目	競技日程	競技会場	競技開催校
陸上競技	平成29年 6月30日(金)～7月1日(土) 予備日: 7月2日(日)	鶴岡市 小真木原陸上競技場	鶴岡高専
バレーボール	平成29年 6月30日(金)～7月2日(日)	鶴岡市 小真木原総合体育館 楡引スポーツセンター	鶴岡高専
サッカー	平成29年 6月30日(金)～7月2日(日)	秋田市 あきぎんスタジアム SPDF 八橋健康広場	秋田高専
バドミントン	平成29年 6月30日(金)～7月2日(日)	秋田市 秋田県立体育館	秋田高専
ソフトテニス	平成29年 6月30日(金)～7月2日(日)	一関市 一関運動公園テニスコート (雨天時) 男子: 一関市 一関高専体育館 女子: 一関市 花泉体育館	一関高専
柔 道	平成29年 6月30日(金)～7月2日(日)	一関市 一関武道館	一関高専
ラグビーフットボール	平成29年 10月20日(金)～10月24日(火)	上北郡東北町 青森原燃テクノロジーセンター	八戸高専
卓 球	平成29年 6月30日(金)～7月2日(日)	八戸市 八戸市体育館	八戸高専
硬式野球	平成29年 6月30日(金)～7月2日(日)	仙台市 宮城広瀬球場 名取市 名取市民球場	仙台高専 広 瀬
ハンドボール	平成29年 6月30日(金)～7月2日(日)	仙台市 宮城野体育館	仙台高専 広 瀬
テ ニ ス	平成29年 6月30日(金)～7月2日(日)	仙台市 川内庭球場 (雨天時) 名取市 仙台高専名取キャンパス 仙台市 仙台高専広瀬キャンパス	仙台高専 名 取
剣 道	平成29年 6月30日(金)～7月2日(日)	仙台市 宮城県武道館	仙台高専 名 取
水泳競技	平成29年 6月30日(金)～7月2日(日)	いわき市 上荒川公園いわき市民プール	福島高専
バスケットボール	平成29年 6月30日(金)～7月2日(日)	いわき市 上荒川公園総合体育館	福島高専

今大会における全国大会出場チーム・選手数

種 目	男 子		女 子		備 考
	団 体	個 人	団 体	個 人	
陸上競技	—	(15種目) 3名	—	(4種目) 2名	同一校からは2名以内。 リレーは2チーム以内。
バレーボール	1チーム	—	1チーム	—	
サッカー	1チーム	—	—		
バドミントン	1チーム	シングルス 2名	1チーム	シングルス 2名	
		ダブルス 2組		ダブルス 2組	
ソフトテニス	1チーム	ダブルス 3ペア	—	ダブルス 2ペア	
柔 道	2チーム	各階級 2名	—	各階級 3名	
ラグビーフットボール	1チーム	—	—		
硬式野球	1チーム	—	—		
バスケットボール	1チーム	—	1チーム	—	
卓 球	1チーム	シングルス 2名	—	シングルス 2名	
		ダブルス 2組		ダブルス 2組	
水泳競技	—	3名 リレー:2チーム	—	2名	各校1種目につき2名まで。
ハンドボール	1チーム	—	—		
テ ニ ス	1チーム	シングルス 2名	—	シングルス 2名	
		ダブルス 2組		ダブルス 2組	
剣 道	1チーム	4名	1チーム	2名	

第54回東北地区高等専門学校体育大会 (硬式野球・ハンドボール) 開会式・閉会式次第

開 会 式 (各競技種目別分散開会式)

日 時 [硬式野球]
平成29年 6月30日(金)
17:00～
[ハンドボール]
平成29年 7月 1日(土)
8:30～

場 所 各競技種目会場

次 第 (選手・役員整列)

- ① 開 式 通 告
 - ② 優勝杯返還
 - ③ 大会会長挨拶
 - ④ 審判長注意
 - ⑤ 選 手 宣 誓
 - ⑥ 閉 式 通 告
- (選手・役員退場)

閉 会 式 (各競技種目別分散閉会式)

日 時 平成29年 7月 2日(日)
各競技終了後

場 所 各競技種目会場

次 第 (選手・役員整列)

- ① 開 式 通 告
 - ② 成 績 発 表
 - ③ 表 彰
 - ④ 講 評
 - ⑤ 大会会長挨拶
 - ⑥ 閉 式 通 告
- (選手・役員退場)

開会式(閉会式)における大会会長挨拶担当者

競技種目	開・閉会式実施会場	開会式大会会長挨拶 担 当 者	閉会式大会会長挨拶 担 当 者
硬 式 野 球	宮 城 広 瀬 球 場	総 務 委 員 長	総 務 委 員 長
ハンドボール	宮 城 野 体 育 館		

開会式・閉会式整列順序

各 高 専 関 係 者			会 長	大 会 関 係 者		
○	○	○	○	○	○	○
福	鶴	秋	仙	仙	一	八
島	岡	田	台	台	関	戸
			広	名		
			瀬	取		

大会日程表

◎6月30日(金) 代表者会議及び開会式

区 分	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	17:30
代 表 者 会 議			ハンドボール	硬式野球				
開 会 式							硬式野球	

◎7月1日(土) 競 技

時 間		8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
種目	会 場											
硬式野球	宮城広瀬球場			予選トーナメント		予選トーナメント			準決勝			
	名取市民球場			予選トーナメント			準決勝					
ハンドボール	宮城野体育館	開 会 式		予 選 リ ー グ								

◎7月2日(日) 競 技

時 間		8:30	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30
種目	会 場											
硬式野球	宮城広瀬球場			決勝								
	名取市民球場			3位決定戦								
ハンドボール	宮城野体育館	準決勝	準決勝					決勝				

第54回東北地区高等専門学校体育大会

仙台大会 競技要項

開 催 種 目			
ハ ン ド ボ ー ル			
硬	式	野	球

担当校：仙台高等専門学校 広瀬キャンパス

ハンドボール競技

日 時 平成29年7月1日(土) 9:30

2日(日) 8:30

会 場 元気フィールド仙台 宮城野体育館

競技役員

総務委員長	白根 崇
委員	張 暁勇 松嶋 邦明
競技委員長	菅谷 純一
委員	長谷部 一気 關 成之 柏倉 仁志 早津 理奈
審判長	佐藤 健
副審判長	大内 敦史
審判員	佐藤 隆宏 尾形 俊賢 吉田 洋 菊地 道幸 工藤 道一 古賀 直哉
記録員	佐々木 匠
医 務 員	佐藤 春美
競技補助員	本校学生会支援学生

競技要項

1. 競技人員 監督1名, 他チーム役員3名, 選手16名以内, 計20名以内
2. 競技規則 (1) 平成29年度(公財)日本ハンドボール協会競技規則による。
(2) 使用球は(公財)日本ハンドボール協会検定球(3号球)とする。
(モルテン ヌエバ3号 HX4000)
3. 競技方法 (1) 6チームをA(3チーム)、B(3チーム)の2つのブロックに分け、リーグ戦を行う。前年度優勝校及び準優勝校をシードし、優勝校をAブロックのAに、準優勝校をBブロックのDに振り分ける。各ブロックの上位2チームで決勝トーナメント戦を行う。その組み合わせは次のとおりとし、3位決定戦は行わない。
Aブロック1位とBブロック2位
Bブロック1位とAブロック2位
(2) 試合時間は25分ハーフとする。(25-10-25)

正規の試合時間終了時に同点の場合、リーグ戦においては引き分けとする。

決勝トーナメント準決勝においては7 mスローコンテストにより決定する。

決勝戦においては正規の第2延長戦まで行い、それでも決しない場合は7 mスローコンテストにより決定する。

(3) リーグ戦における順位は次の順位に従って決定する。

[ア] 勝ち=2、引き分け=1、負け=0とし、点数の多いチームを上位とする。

[イ] 2チーム同点の場合は相互の試合で勝ったチームを上位とする。

[ウ] 3チーム同点の場合は、

①総得点と総失点の差の多い方を上位とする。

②総得点の多い方を上位とする。

③当該チームで7 mスローコンテストにより決定する。

4. その他 (1) ユニホームはコートプレーヤー2色、ゴールキーパー2色、合わせて4色のものを用意する。

(2) ゴールキーパーとして出場するプレーヤーは両方のコートプレーヤー、相手チームのゴールキーパーと明確に区別できる色のユニホームを着用しなければならない。

(3) チーム責任者はベンチマークAを、他はB、C、Dを付けること。

(4) パワーパンツ及びサポーターを着用する場合、色はチームで統一していればよい。

(5) 両面テープの使用を認める。松やに及びスプレーの使用を禁ずる。

(6) 出場チーム数の変更や競技会場の制約等により競技方法の変更が必要となった場合は、協議の上決定するものとする。

(7) 競技進行の詳細は代表者会議において確認及び決定するものとする。

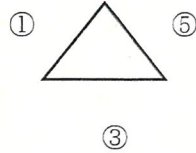
第54回東北地区高等専門学校体育大会

ハンドボール

【予選リーグ】 1 日 (土)

〈Aブロック〉

A 秋田



B 八戸

C 仙台名取

『第1試合①』 9:30~10:30

秋田 [-] 八戸

『第3試合③』 11:50~12:50

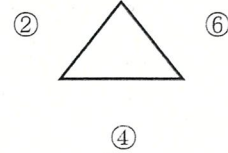
八戸 [-] 仙台名取

『第5試合⑤』 14:10~15:10

仙台名取 [-] 秋田

〈Bブロック〉

D 一関



E 鶴岡

F 仙台広瀬

『第2試合②』 10:40~11:40

一関 [-] 鶴岡

『第4試合④』 13:00~14:00

鶴岡 [-] 仙台広瀬

『第6試合⑥』 15:20~16:20

仙台広瀬 [-] 一関

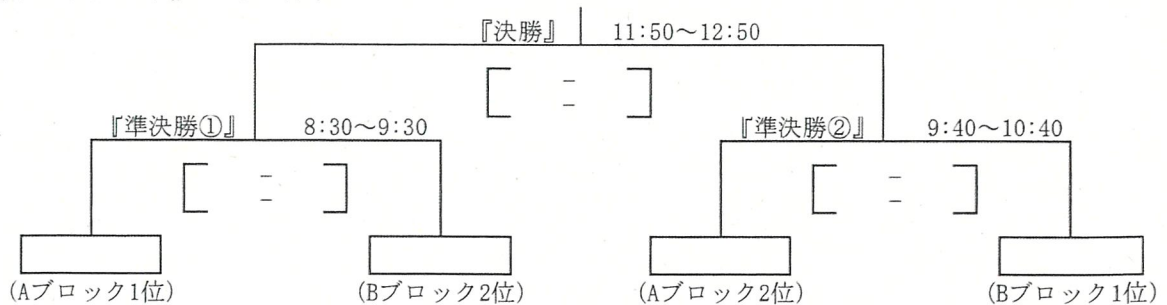
〈Aブロック〉

	A 秋田	B 八戸	C 仙台名取	勝点	得失点差	総得点	順位
A 秋田							
B 八戸							
C 仙台名取							

〈Bブロック〉

	D 一関	E 鶴岡	F 仙台広瀬	勝点	得失点差	総得点	順位
D 一関							
E 鶴岡							
F 仙台広瀬							

【決勝トーナメント】 2 日 (日)



第1位		第2位		第3位	
-----	--	-----	--	-----	--

硬式野球競技

日 時 平成25年7月1日(土) 9:30

10:00

2日(日) 9:30

会 場 宮城広瀬球場, 名取市民球場

雨天順延の場合 3日(月)・4日(火)

競 技 役 員

総務委員長 久保田 佳克

委員 兼村 裕介

競技委員長 佐藤 健太郎

委員 安藤 敏彦 今井 裕司 矢澤 睦 矢島 邦昭 與那嶺 尚弘

伊藤 広樹 遠藤 雄定 佐々木 律 鈴木 勇斗 杉山 力 高田 稔

永澤 岳彦 柳原 幸子

審判長 後藤 昇 (宮城県高野連附属審判団団長)

副審判長 小室 健二 (宮城県高野連附属審判団副団長)

審判員 小松 宗夫 武田 徹 平岡 勲 浅野 雅訓 鈴木 渉 後藤 昇

鵜田 代志昭 鈴木 滯 野田 学 岩倉 淑浩 武田 徹 布田 秀斗

朝生 匠 島田 翔平 千葉 祐介 大槻 充夫 小室 健二 太田 博昭

森山 宏則 浅野 卓也 小倉 貴仁 佐々木 伸明 毛利 晃

小林 良守

医 務 員 片山 千鶴子 齋藤 しげ子

競技補助員 仙台高専広瀬キャンパス ラグビー部員

競 技 要 項

1. 競技人員 部長1名、監督1名、マネージャー1名、選手18名以内、計21名以内
2. 競技規則 (1) 2017年度公認野球規則による。ただし、特別規則は別に定める。
(2) 使用球は公認球とする。
3. 競技方法 (1) 競技はトーナメント戦とし、3位決定戦を行う。
(2) 日没、降雨、雷等が生じた場合の試合の続行は、競技委員、総務委員及び審判員の協議により決定する。
(3) 前項により試合の続行が不可能となった場合は、
[ア] 7回未満のときは、ノーゲームとし、再試合を行う。
[イ] コールドゲームは、7回完了若しくは6回半終了とする。

(4) 7回完了若しくは6回半終了までに点差が7点以上になった場合は、コールドゲームとする。ただし、決勝戦を除く。

(5) 延長戦は15回で打ち切り、再試合を行う。

(6) 雨天の場合は2日間順延とする。ただし、3位決定戦を行わない。2日間の順延後、なお競技が終了しない場合は、次のとおりとする。

【ア】2チームが勝ち残っている場合は、

①両チームを1位とする。

②全国高専体育大会の出場については、両チームの協議により決定する。

【イ】3チーム以上が勝ち残っている場合は、

①競技を中止する。

②全国高専体育大会の出場校は、協議により決定する。

4. その他

(1) 第2試合以降は、開始予定時刻を繰り上げて実施することがある。

(2) 試合に出場するチームは、試合開始予定時刻60分前に集合し、攻守決定とメンバー表の交換を主将によって行う。メンバー表は5通提出すること。

攻守の順序は、主将のジャンケンによって決める。

(3) ベンチサイドは、組み合わせ番号の若い方を1塁側とする。

(4) 試合前のシートノックは、各7分とする。シートノックにノッカー1名（選手と同じユニフォームとスパイクを着用し、ノック終了時は直ちにグラウンドから退場すること）、練習補助員3名（選手と同じ試合用ユニフォームで背番号がないもの、トレーニングシューズ、ヘルメットを着用）を加えても良い。

(5) 危険防止のため、打席に入るとき及び走者になったときは、必ず両耳付きのヘルメットを着用すること。

(6) 捕手が座って投球を受ける場合は、試合中、練習中を問わず必ずマスク、ヘルメットなどの捕手用具を着用すること。

(7) 手袋、リストバンドの使用を認める。

(8) スパイク表面の色彩をチームで統一し、黒色とすること。

(9) 試合中攻守交代は、特に迅速にすること。

(10) 攻撃及び守備のタイムは1試合にそれぞれ3回までとする。延長に入った場合、それ以前の回数に関係なく、1イニングにつき1回までとする。

(11) 監督と選手は審判員のジャッジに対して抗議することはできない。審判員に対するアピールができるのは規則適用上の疑問をただすとき認められるが、主将、伝令または当該選手に限られる。

(12) バット、ヘルメット、キャッチャーの防具の点検は、審判員が行う。

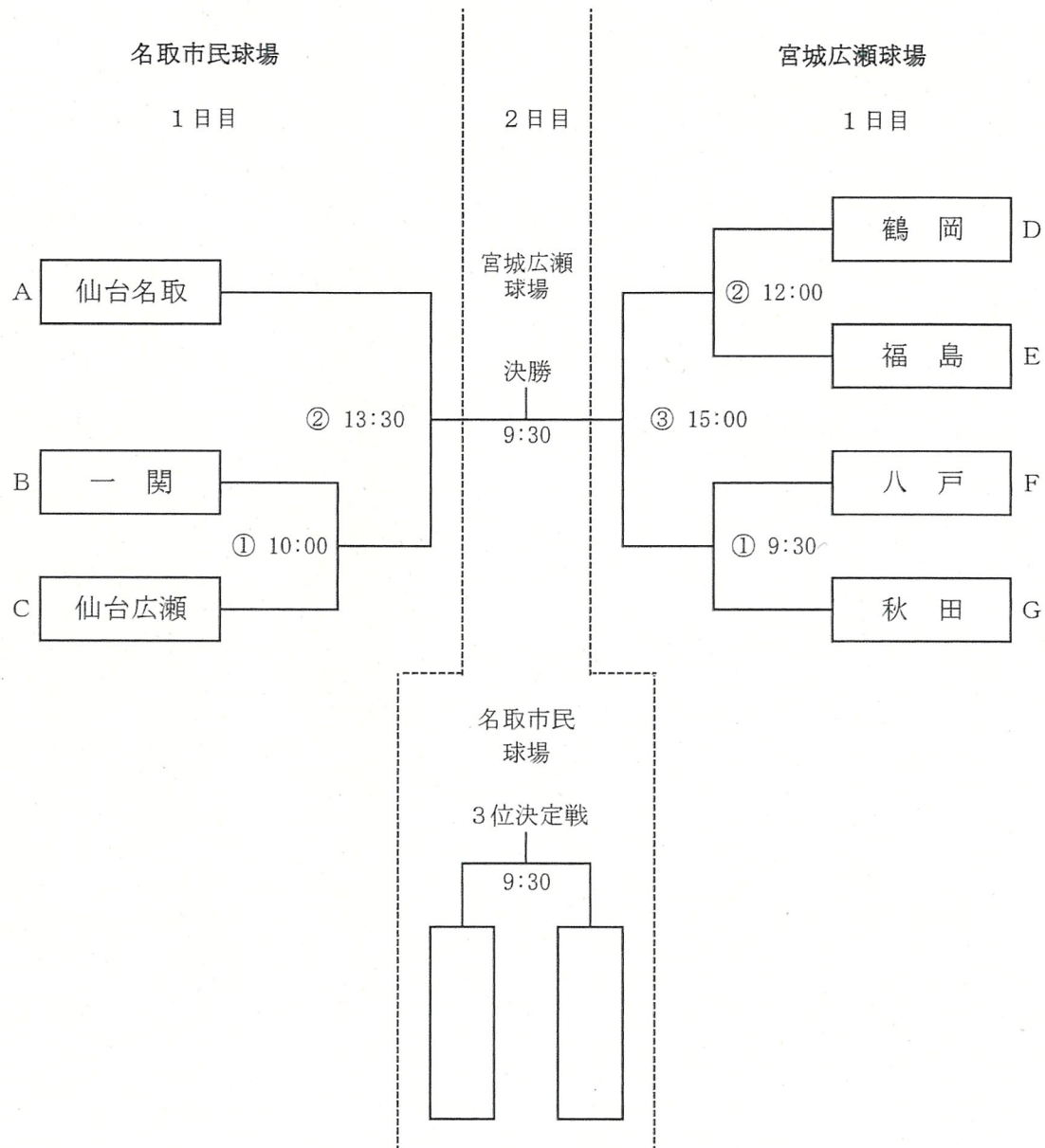
(13) 選手は必ず1番から29番までの背番号をつけること。ただし、主将は背番号10番とする。

(14) 球場内のブルペンを使用する場合は、試合をしている該当チームの許可を得ること。

(15) 各球場の「利用の心得」を遵守すること。

第54回東北地区高等専門学校体育大会

硬式野球



第1位

第2位

第3位

◇第1試合（1回戦）

◇第2試合（ 1回戦 ）

◇第3試合（準決勝）

◇第1試合（1回戦）

◇第2試合（準決勝）

◇第1試合（決勝戦）

◇第1試合（ 3位決定戦 ）

[illegible]